

じじょ 自助・共助・公助

大災害が発生した場合、被害が広範囲に及ぶため、市などの防災機関による防災・救護活動だけでは十分に対応できません。災害による被害を最小限にするためには、「自助・共助・公助」の連携が重要です。平成7年の阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊などによる生き埋めや閉じ込められた人のうち、消防などの公的機関の救助によって救出されたのはわずか数パーセントでした。多くの住民は、自力または家族や隣人などの地域住民によって救出されました。災害直後は、いろいろな所で被害が発生し、すべての災害現場に公的機関が駆け付けることは不可能になります。



じじょ じぶん かそく ぼうさいかつどう 《自助》自分や家族での防災活動

被害を最小限に食い止めるためには、日頃からの備えが大切です。災害時に慌てず行動ができるように、家族で「防災」について話し合みましょう。

防災マップをみて、自宅周辺の危険箇所は？

- 洪水や土砂災害のおそれのある区域となっていないか確認しましょう。
- 避難場所までの避難経路に危険な箇所がないか確認しましょう。

わが家の危険な箇所は？

- 家の中で危険な場所はないか確認しましょう。
- 屋外で危ない箇所はないか確認しましょう。
- 建物に破損などがないか状況確認しましょう。

防災・災害情報や家族との連絡方法は？

- 防災アプリや市公式 SNS の事前登録をしましょう。
- どのような情報ツールがあるか調べてみましょう。

災害時持出し品は？

- 災害時持出し品を置く場所を決めておきましょう。
- 災害時、だれが持ち出すか確認しましょう。
- 食料品・飲料水の賞味期限の確認しましょう。

きょうじょ となりきんじょ ちいき ぼうさいかつどう 《共助》隣近所や地域での防災活動

地域の防災活動



危険箇所の共有



避難誘導



助け合って避難



地域住民が協力し合い、防災活動に取り組むことが、被害を軽減する大きな力となります。

じしゅ ぼうさい そしき 自主防災組織

自主防災組織とは、地域のみなさんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の考えのもと、自主的に結成し、日頃から自発的に防災活動に取り組む組織をいいます。市では、自主防災組織の結成及び活動に対して助成を行っています。詳しくは、市防災課までご相談ください。

自主防災組織の主な活動

平常時

- 防災地域の普及啓発
- 危険箇所の把握
- 訓練の実施
- 資機材の点検など

災害時

- 情報の収集、伝達
- 要配慮者支援
- 避難誘導
- 安否確認

自分たちの地域は自分たちで守りましょう！



こうじょ きょうせい かんけいきかん ぼうさいかつどう 《公助》行政・関係機関での防災活動

耐震化促進事業



自助・共助の推進



救助・救急活動



情報発信・伝達



市では、防災・災害対策に関するものを、県や国、その他地方自治体、消防、警察、自衛隊などと連携して行います。